

只見川のほとりの金山町横田。

ここで国道二五二号より岐れて、

山入川沿いの県道を

約五キロほどさかのぼると

鮭立の集落につきます。

集落の背後にある石田山、

その山すそのゆうのなかに

会津地方でただ一ヶ所

他にはない磨崖仏群があります。

鮭立磨崖仏

江戸時代後期の天明の頃には

重い年貢と続く凶作、その中で

せつせと働いた農民の救いは

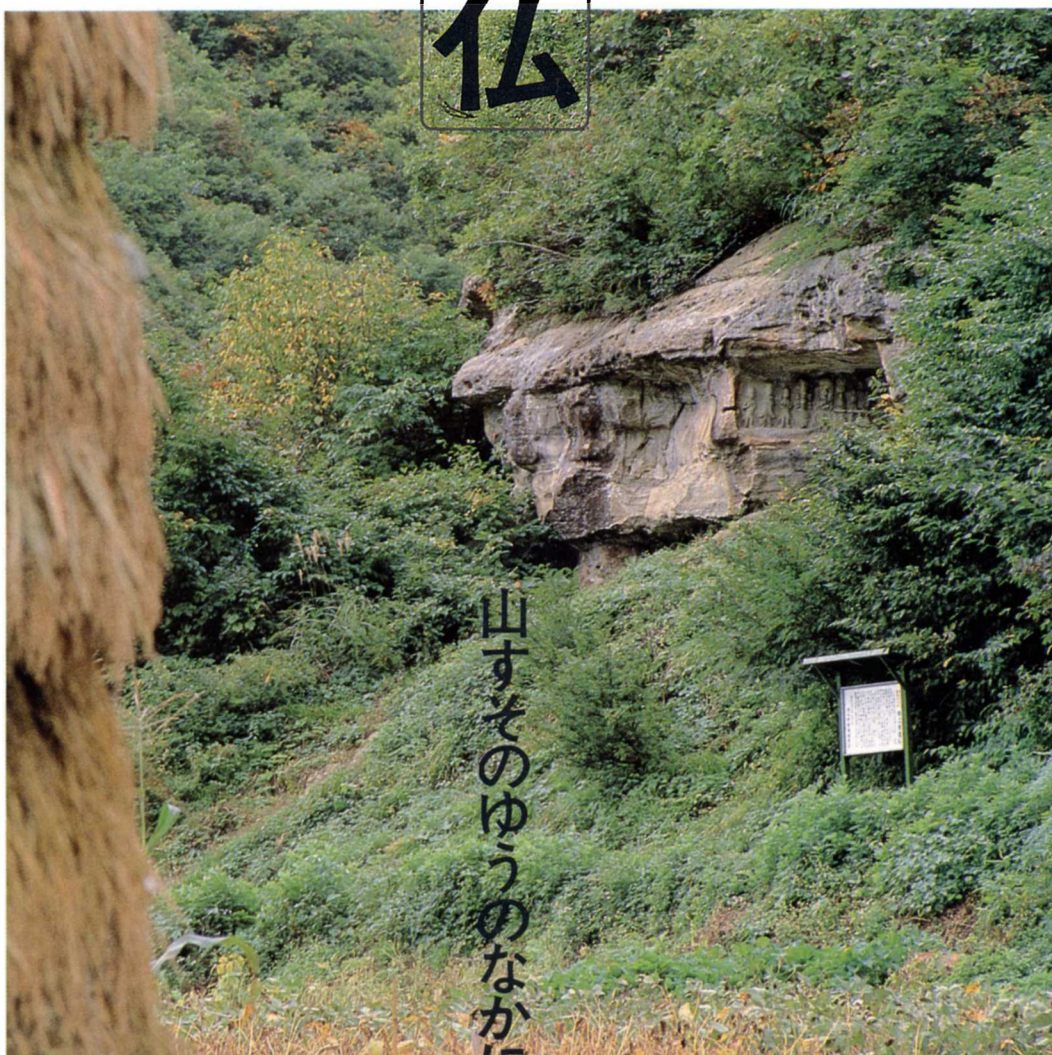
何だったのでしょうか。

このころ、鮭立に土着していた

ある修験者が、

五穀豊饒と病苦の退散を祈って

磨崖仏を彫ったと伝えられています。



山すそのゆうのなかに